

## シンプレクス・ジャパン・バリューアップ・ファンド

追加型投信/国内/株式

## ファンドの概要

【設定日】	2008年2月27日
【償還日】	2028年7月31日
【決算日】	原則7月31日
【収益分配】	決算日毎

## ファンドの特色

割安な状態となっている企業へ投資を行い、経営者と共に企業価値向上を図っていく投資信託です。企業の経営者との関係構築を通じて長期的なリターンを追求します。

【基準価額】 43,103円

【純資産総額】 282.2億円

## 【分配金実績(税引前、1万口当り)】

第12期	第13期	第14期	第15期	第16期
2019/7/31	2020/7/31	2021/8/2	2022/8/1	2023/7/31
0円	0円	0円	0円	0円

※上記は過去のものであり、将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

## 【基準価額の騰落率】

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
当ファンド	2.1%	11.8%	21.9%	21.6%	44.3%	331.0%
TOPIX	-0.9%	7.5%	21.7%	33.3%	44.5%	101.0%

※基準価額の騰落率は分配金(税引前)を再投資し計算しています。

## 【資産構成】

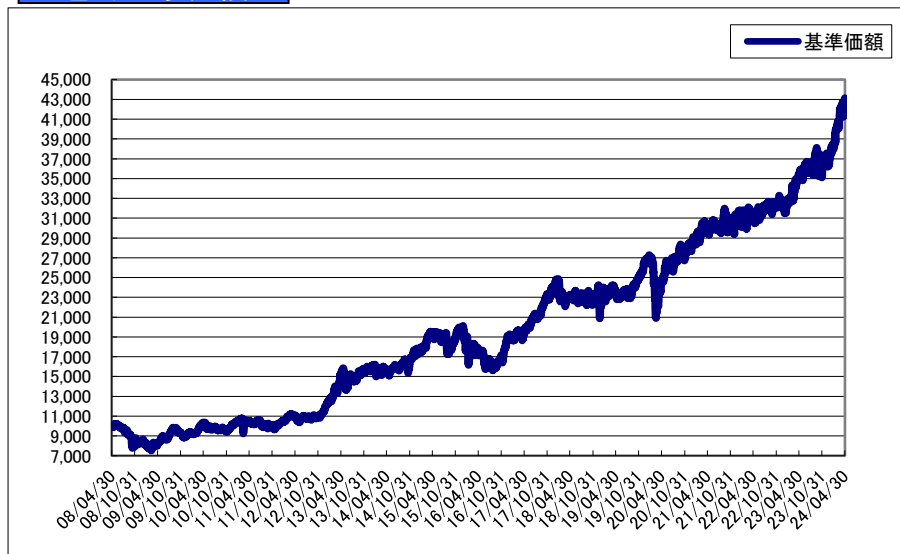
株式	101.4%
TOPIX(ETF)	0.0%
現金その他	-1.4%

## 【株式銘柄数】

27銘柄

## 運用実績

&lt;基準価額の推移&gt;



※グラフのデータは分配金(税引前)を再投資し計算しています。  
※基準価額は、信託報酬控除後の値です。

&lt;株式業種別ウエイト&gt;

	業種	集計
1	機械	17.99%
2	保険業	17.07%
3	非鉄金属	15.34%
4	不動産業	13.40%
5	情報・通信業	7.66%
6	卸売業	7.07%
7	化学	5.37%
8	小売業	4.62%
9	建設業	2.92%
	その他	6.53%
	現金、他	2.04%

※当ファンドはシンプレクス・ジャパン・バリューアップ上場株マザーファンドを通して運用を行っておりますので、構成比率はそのマザーファンドの投資比率を記載したものです。

## 運用コメント

4月のTOPIXは、▲0.9%と4か月ぶりに下落しました。上旬は利益確定売りや米長期金利の上昇などが重荷となりましたが、米雇用統計の堅調などから株価は一時的に上昇しました。中旬以降は米国でインフレの根強さを示す経済指標が相次ぎ、FRBの利下げ期待が遠のいたことが株価の重荷となりました。中東情勢の緊迫化も投資家心理を冷やしました。月末にかけては自律反発期待の買いが集まり、円相場が一時160円台まで下落、円安が利益を押し上げる自動車など輸出関連株には支えとなりましたが、輸入物価の上昇など急激な円安による日本経済への悪影響も意識され、相場全体の押し上げ要因にはなりません。中小型株劣位の相場展開の中、基準価額伸び率は+2.1%の上昇となりました。今月のバリューアップ活動の結果としては、①不動産会社において自社株買い(発行済株式数の1.4%)の発表、②不動産会社において増配(配当利回り4.6%から5.3%)の発表、③小売会社において自社株買い(発行済株式数の1.2%)の発表、がありました。引き続き不透明な環境においても堅調な業績を維持できる会社を中心に銘柄の集中度を高め、バリューアップ活動によりリターンを獲得していく所存です。

■本資料は、シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社が当ファンドの運用状況についてお伝えすること等を目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料であり、法律に基づく開示資料ではありません。■当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。■当資料に掲載されている数値・図表等は、当資料作成時点のものであり、当資料に示された見解は、当資料作成時点における弊社の判断によるものです。■当資料中のいかなる内容も、将来の市場環境等の変動を保証するものではありません。■当資料中のいかなる内容も、将来の運用成果等を保証するものではありません。■当ファンドの受益権の基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。従いまして、当ファンドは元本が保証されるものではありません。また、投資成果を事前に保証するものではありません。投資信託は預貯金と異なります。■当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず、運用方針およびリスク要因等、手数料の合計、報酬等、当ファンドの内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■目論見書は、取扱販売会社でご提供します。■投資信託は、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社以外の登録金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。

## シンプルクス・ジャパン・バリューアップ・ファンド

追加型投信/国内/株式

## 当ファンドに係るリスクについて

## ◆基準価額の変動要因

当ファンドは、主に日本の株式や公社債など値動きのある有価証券にマザーファンドを通じて投資します。主として次のような性質があり、当ファンドの基準価額を変動させる要因となります。従って、当ファンドは、元本が保証されているものではありません。投資信託は預貯金と異なります。また、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた場合には、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。

信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。

## ◆価格変動リスク

株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢の影響を受け変動します。株式の価格が大幅に下落した場合、ファンドの投資成果に重大な損失が生じることとなります。

## ◆金利変動リスク

金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には、債券価格は下落します。また、金利水準の大きな変動は株式市場に影響を及ぼす場合があります。当ファンドの基準価額の変動要因となります。

## ◆信用リスク

投資している有価証券等の発行会社の倒産、財務状況または信用状況の悪化等の影響により有価証券等の価格が下落すると、ファンドの基準価額の下落要因となります。

## ◆流動性リスク

有価証券等を売却あるいは購入しようとする際に、買い需要が無く売却不可能、あるいは売り供給が無く購入不可能等となるリスクのことをいいます。例えば、市場動向や有価証券等の流通量などの状況、あるいはファンドの解約金額の規模によっては、組入有価証券等を市場実勢より低い価格で売却しなければならないケースが考えられ、この場合にはファンドの基準価額の下落要因となります。

## ◆為替変動リスク

ファンドが外貨建資産を保有する場合、当該通貨と円との為替相場変動の影響を受け、損失が生じることがあります。

## ◆派生商品リスク

先物取引、オプション取引、各種スワップ取引等の派生商品取引の利用をヘッジ目的に限定しておりません。したがって、派生商品取引を活用することにより、実際の価格変動が見通しと異なった場合、損失を被るリスクがあります。

## ◆ファミリーファンド方式に起因するリスク

当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。そのため、当ファンド以外にマザーファンドへ投資するベビーファンドがある場合、当該ベビーファンドの追加設定・解約等によりマザーファンドに資金の流入が生じることがあります。その結果として、マザーファンドにおいて組入有価証券の売買等が生じた場合には、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

## 当ファンドに係る手数料について

## ◆申込手数料

取得申込受付日の基準価額に3.30% (税抜3%) を上限として販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社にてご確認ください。

## ◆換金(解約)手数料

当ファンドには換金(解約)手数料はありません。

## ◆信託財産留保額

基準価額の0.5%

## ◆信託報酬

基本報酬: ファンドの純資産総額に年2.002% (税抜1.82%) の率を乗じて得た額とします。

成功報酬: 基準価額が一定の水準を超えた場合、その超過額の22.0% (税抜20%)

## ◆その他の費用

信託財産に関する租税、信託事務等の諸費用、監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料等をファンドより実費として間接的にご負担いただきます。(その他費用については、資産規模および運用状況等により、変動しますので、事前に料率、上限等の記載をしておりません。)

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様が保有される期間等により異なりますので記載しておりません。

■本資料は、シンプルクス・アセット・マネジメント株式会社が当ファンドの運用状況についてお伝えすること等を目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料であり、法律に基づく開示資料ではありません。■当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。■当資料に掲載されている数値・図表等は、当資料作成時点のものです。また、当資料に示された見解は、当資料作成時点における弊社の判断によるものです。■当資料中のいかなる内容も、将来の市場環境等の変動を保証するものではありません。■当資料中のいかなる内容も、将来の運用成果等を保証するものではありません。■当ファンドの受益権の基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。従いまして、当ファンドは元本が保証されるものではありません。また、投資成果を事前に保証するものではありません。投資信託は預貯金と異なります。■当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みの際は投資信託説明書(交付目録見書)をお渡しいたしますので、必ず、運用方針およびリスク要因等、手数料の合計、報酬等、当ファンドの内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■目録見書は、取扱販売会社でご提供します。■投資信託は、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

## シンプレクス・ジャパン・バリューアップ・ファンド

追加型投信/国内/株式

## お申込みメモ

- ◆商品分類 : 追加型投信/国内/株式
- ◆信託期間 : 約20年(令和10年7月31日)
- ◆決算日 : 毎年7月31日(休業日のときは翌営業日)
- ◆収益分配 : 年1回の決算時に、収益分配方針に基づき収益の分配を行います。  
販売会社との契約によっては、再投資が可能です。
- ◆購入単位 : 1口または1円 販売会社が独自に定める単位
- ◆購入価額 : 取得申込受付日の基準価額
- ◆換金単位 : 1口単位  
なお、換金申込可能額については、最終換金申込日の当該ファンドの総口数残高の10%を上限とし、比例配分とします。
- ◆換金価額 : 換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
- ◆換金代金 : 原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目からお支払いします。

## 委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社  
受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社  
販売会社 : (下記の販売会社一覧表をご覧ください。)

## &lt;販売会社&gt;

金融商品取引業者の 名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業協 会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
UBS SuMi TRUSTウェルス・マネジメント株式会社	関東財務局長(金商)第3233号	○	○	○	
SMBC日興証券株式会社	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○

## &lt;委託会社&gt;

- シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第341号  
加入協会 : 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■本資料は、シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社が当ファンドの運用状況についてお伝えすること等を目的とし、受益者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した資料であり、法律に基づく開示資料ではありません。■当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。■当資料に掲載されている数値・図表等は、当資料作成時点のものです。また、当資料に示された見解は、当資料作成時点における弊社の判断によるものです。■当資料中のいかなる内容も、将来の市場環境等の変動を保証するものではありません。■当資料中のいかなる内容も、将来の運用成果等を保証するものではありません。■当ファンドの受益権の基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属します。従いまして、当ファンドは元本が保証されるものではありません。また、投資成果を事前に保証するものではありません。投資信託は預貯金と異なります。■当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず、運用方針およびリスク要因等、手数料の合計、報酬等、当ファンドの内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■目論見書は、取扱販売会社でご提供します。■投資信託は、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社以外の登録金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。